

ロータリー財団地区補助金報告書

提出日 2024年 9 月 20日

RI2720地区 R財団

地区補助金委員会 御中

プロジェクト 承認番号 : DG2563849-20 クラブ名 : 臼杵ロータリークラブ
プロジェクト名 : フリースクールぱずる支援プロジェクト

プロジェクトの概要

1. このプロジェクトで何が、いつ、どこで実施されたかを簡潔に説明してください。
フリースクールぱずる開所にあたり、当面必要とする消耗品や事務用品を贈呈することで物質的支援を行った。
今後も気配りして、運営上でのお困りごと解決のために人的支援を予定している。

2. このプロジェクトの恩恵を受けた人々の数はどのくらいですか。
開所当初は生徒・保護者を入れて10名程度。今後は多くの学校になじまない子供たちの役に立ちたい。
3. プロジェクトの受益者は誰ですか、またどのような恩恵を受けましたか。
プロジェクトはどのような人道的又は教育的なニーズに応えましたか。

学校になじまない子供たちとその保護者。

子どもたちにとって安心できる場所の提供のお手伝いをした。

一人一人が、自分で学び、自分で決め、自分でやりたいことを見つける場所になってもらいたい。

4. このプロジェクトに何名のロータリアンが参加しましたか。
12名

5. これらのロータリアンは何を行いましたか。
プロジェクトへの財政的支援を除き、その具体例を少なくとも2つ挙げてください。
開所する場所の情報提供。開所前の掃除。什器備品搬入のお手伝い。

6. 協力団体が関与している場合、その団体の役割は何でしたか。
NPO 法人「竹の子の会」。役割は学習サポート。

証明の署名

本報告書に署名することで、私の知る限りにおいて、地区補助金の資金が管理委員会の指針に準拠し認められた項目にのみ使用され、ここに記された全ての情報が事実であり、かつ正確であることを認めます。補助金資金の全ての支出の領収書を、地区に提出しました。また、私は、本報告書に関連して提出した写真は全て、RIの所有物となり、返送されないことも理解しています。私は著作権を含めこの写真の全ての権利を所有することを認め、時と場所を問わず、いかなる方法、また現在知られている媒体または後に作成される媒体において、使用料なしで写真を使用する取消不能な許可をRIとロータリー財団に与えます。これには必要であれば、RIの独自の裁量により写真に修正を加える権利が含まれます。また、RI及びロータリー財団が、ウェブサイト、雑誌、冊子、パンフレット、展示、その他の推進資料において写真を制限なく使用できる権利も含まれます。

クラブ名: 臼杵ロータリークラブ

ロータリーの役職: 会長

署名: 板井登喜雄

署名日: 2024 年 9 月 20日

ロータリー財団地区補助金報告書（写真・記事等）

様式5-3

提出日 2024 年 9 月 20 日

RI2720地区 R財団
地区補助金委員会 御中

プロジェクト 承認番号 : DG2563849-20クラブ名 : 臼杵ロータリークラブ
プロジェクト名 : フリースクールばずる支援プロジェクト

受益者記述書又はクラブ責任者報告書（新聞記事や写真等を貼付してください。）

記事や写真をプロジェクトの概要が分かりやすい方法であれば本紙以外で報告されても構いません。









フリースクール パズる について

- 「フリースクールぱずる」は、子どもたちにとって安心できる居場所をめざし、「やりたい」「知りたい」「できるようになりたい」に寄り添い応援していきたいと考えます。
- そして、一人一人が、自分で選び、自分で決め、自分のやりたいことをみつける場所でありたいと考えます。
- また、学びに特性があり、学びにくさで困っているお子さんへの学習サポートも大切な役割と考えます。合理的配慮や特別支援教育の視点を取り入れ、保護者支援などにも一緒に関わっていけたらと思います。

パズルのピースを埋めていく方法やペースは違って、心のピースを一つずつ埋めていくことで、自分のパズルの完成をめざす子どもたちがいる。その一人ひとりに寄り添い見守り、「自分でできた」にたどり着くための応援をするスタッフがいる。そんなフリースクールをめざしています。

Q: いつ、やってるの?

A: 毎週 水曜日・金曜日 (令和6年度)
8:30~15:00 (自分のペースでOK)

Q: どこで、やってるの?

A: 臼杵市臼杵 2-107-42 (臼杵駅から徒歩5分)

Q: 利用料は?

A: 月額 10,000 円 (詳細はお問い合わせください)

Q: 何ができるの?

A: 学習 (各教科) 創作 (絵画・工作・手芸・木工など) 音楽活動 (鑑賞・キーボード・ギター演奏など)
パソコン (イラスト・ゲーム) 料理 (献立づくり・買い物・調理) 読書 (実用書・趣味の本・絵本・マンガなど)

Q: スタッフは?

A: スタッフは、今のところボランティアで行っています。療育の専門家はいませんが、長年、特別支援教育をとおして子どもたちと関わってきた元学校の先生が中心です。「特別支援学校教諭免許」や「学校心理士」の資格を持った先生もいます。教科の専門も様々ですが、一人一人の「ありのまま」を受け入れた対応を心がけます。

フリースクールぱずるに興味や関心のある方、見学希望される方、お気軽にお問い合わせください。

フリースクール パズる
<お問い合わせ>

Tel : 090-9072-4718 (愛甲千秋)
Mail : puzzle.usuki@gmail.com



インスタグラム



@FREE_SCHOOL_PUZZLE





フリースクールとは

フリースクールとは、何らかの理由から学校に行くことができない、行かない、行きたくても行けない…という子どもたちが、小学校・中学校・高校の代わりに過ごす場所です。そんな子どもたちにとって、社会とのつながりを感じられるかどうかは重要なこと。子どもの場合、学校に行けない・行かないことで他人と接する機会が少なくなると、社会から取り残されたような感覚に陥りがちです。フリースクールで家族以外の人とつながっていただける環境は、社会との大事な接点になります。それは、目には見えにくい子どもの不安や焦り、心の負担をきっと和らげてくれることと思います。



フリースクールぱずる



「ぱずる」の一日のスケジュール

ぱずる到着
8:30

ミーティング

※到着時間は自分のペースでOK！
今日の予定をスタッフと相談しながら自分で決めます

活動 1

活動 2

活動 3



11:30

昼食・休み時間

食べたいものを自分で用意して食べます
お弁当 インスタントラーメン コンビニ…OK(〇〇)

13:00

ミーティング

午前をふりかえり、午後の予定をスタッフと相談しながら決めます

活動 4

活動 5



15:00

15:30

帰宅

帰宅準備

1日をふりかえりながら次回について話します



フリースペース(交流・談話室)



学習ルーム



フリースクール



ロゴマークに込めた「ぱずる」からのメッセージ

子どもの成長を支援する「場」のイメージを、家をモチーフにしたマークで表しています。家はパズルを組み合わせた形にすることで、「つながり」や「交流」を、そこから芽生える若葉は子どもの成長や将来性を育み支えることを意味しています。そして、全体的にカラフルな配色とすることで、楽しさと多様性を大切にしていきたいという思いを表しています。